

第二十四篇

原文部分：

おしゃべり防止の新装置

たとえば結婚式。スピーチで年配のおじさんが「人生で大切な10の心構え」などと話しだすと3分では終わらない。この手の話は長びくのが相場。終わるとやれやれで、一息つきながら拍手と相成る。

退屈な冗舌もやりきれない。英国の作家モームの短編にそんな女性が出てくる。周りの辟易には気がつかない。「平凡きわまることを、釘を壁にハンマーで打ち込むように、他人の耳の中へと押し込んだ」(行方昭夫訳)。知り合いの顔が浮かんだ方も、おいでだろうか。

あれこれ思いながら、先日の記事を読んだ。人を笑わせ、考えさせる科学研究などに贈られる恒例の「イグ・ノーベル賞」を日本人の研究者二人が受賞した。発明したのはおしゃべりを黙らせる装置。一台ほしい、という声があちこちから聞こえそうだ。

話している人に向けて、0.2秒ほど遅れてその声を送り返す。

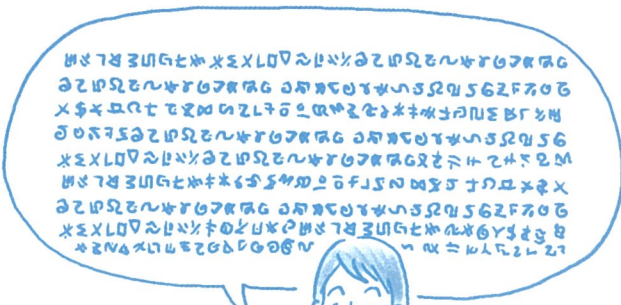


すると混乱して話し続けられなくなるらしい。長話を黙らせた
たいという「人類の根源的問題」に答えようとした。そんな
評価もあるそうで、ユーモアの味わいがいい。

思えば、目は閉じたいときにすぐ閉じられる。しかし耳は
同じようには閉じられない。だから携帯電話の話し声やら、
聞きたくないのに聞こえてしまう。

一方で、退屈な講演などを「最高の子守歌」と言う人もい
る。耳が閉じられないゆえの余得だろう。うつらうつらの船
漕ぎは、なかなか幸せな一時でもある。ユニークな賞に誘わ
れて、秋の一日、連想があちらこちらへ広がった。

2012年9月26日



学习部分:

第 1 节

おしゃべり防止の新装置

たとえば結婚式。スピーチで年配のおじさんが「人生で大切な10の心構え」などと話すと3分では終わらない。この手の話は長びくのが相場①。終わるとやれやれで、一息つきながら拍手と相成る②。
 退屈な冗舌もやりきれない③。英国の作家モームの短編にそんな女性が出てくる④。周りの辟易には気がつかない。「平凡きわまることを、釘を壁にハンマーで打ち込むように、他人の耳の中へと押し込んだ」(行方昭夫訳)。知り合いの顔が浮かんだ方も、おいでだろうか⑤。

译文

防止喋喋不休的新装置

比如说，在婚礼上，一位上了年纪的大伯在致辞中一旦谈到“人生最重要的十项精神准备”等话题时，3分钟是完不了的。这种形式的讲话一般都是冗长拖沓。听他讲完后，大家终于松了一口气，(礼貌地)鼓起掌来。

枯燥无味的喋喋不休令人难以忍受。英国作家毛姆的短篇小说中就有这样一位女性，她对旁人(听其唠叨)已

厌烦的情绪毫无觉察，就像“用锤子往墙上钉钉子，把一些极为平凡的琐事硬往别人的耳朵里塞”（行方昭夫译）。不知是否有读者已在脑海中浮现出与此女性一样喋喋不休的熟人的面孔了呢？

- ① **注解** 注意「相場」在这里不取“行市、行情”的义项，而取“惯例、老规矩”的义项。
- ② **注解** 这句含有“大家听着冗长的致辞无可奈何，听完后出于礼貌，鼓起了掌”的意思。「一息つきながら」指喘口气，因前面已有“松了一口气”，为避免重复略而未译。
- ③ **注解** 注意「やりきれない」取“受不了、忍受不了”的义项。
- ④ **注解** 「モーム」，毛姆（Somerset Maugham 1874-1965），英国剧作家、小说家。
- ⑤ **注解** 「方」指正在看此文的读者。这句虽没有出现“与此女性一样喋喋不休”的字眼，但却含有此意。



生词&例句

【おしゃべり】 好说话；说个没完；神聊；闲聊（～の人）。

<例句> ● おしゃべりなおばあさん。⇒ 碎嘴子的老太婆。

● おしゃべりするな。⇒ 别嚼舌头啦！别瞎聊啦！

【心構え】 こころがま 思想准备；精神准备。

<例句> ● 十分に心構えをする。⇒ 做好充分的思想准备。

● まだ心構えができていなかった。⇒ 还没做好思想准备。

【この手^て】 (1) 这方法; 这一手。(2) 这种; 这类。

<例句> ●この手で攻めよう。⇒用这种方法来进攻吧。

- この手の品はまだありますか。⇒这一种商品还有吗?

【ながびく^{なが}】【ながびく^{ながび}】 拖长; 拖延; 迟延。

<例句> ●彼の病気はだいぶ長引いた。⇒他的病拖得时间很长。

- 質問が多くて会議が長引いた。⇒因为提问多, 会议时间拖长了。

【相場^{そうば}】 (1) 行情; 市价。(2) 惯例; 老规矩。

<例句> ●相場が上がる。⇒行情上涨。

- 夏は冷えたビールに枝豆と相場が決まっている。
⇒夏天, 喝冰镇啤酒吃毛豆是必不可少的。

【やれやれ】 (表示感动、松了一口气、叹息等) 哎呀; 哎呀呀。

<例句> ●やれやれ、立派なものだ。⇒哎呀, 可真了不起!

- やれやれ、これで助かった。⇒哎呀, 这可好了!
- やれやれ、また失敗だ。⇒哎呀, 又搞糟了!

【一息^{ひといき}】 喘口气。

<例句> ●ほっと一息つく。⇒歇口气。歇一会儿。

- 一息つくひまもないぐらい忙しい。⇒忙得连喘口气的工夫都没有。

【相成^{あいな}る】 「なる」的郑重说法。

<例句> ●春暖の候と相成りました。⇒到了春暖(花开)的季节了。



- 年内の営業は本日までと相成ります。⇒ 年内营业就到今天为止。

【冗舌】^{じょうぜつ} **【饒舌】**^{じょうぜつ} 饶舌；话多。

<例句> ● 饒舌な人。⇒ 饶舌的人。

- 酒が入ると至って饒舌になる。⇒ 喝过酒以后，话就多起来。

【やりきれない】^{やりきれない} **【遣り切れない】**^{やりきれない} (1) 干不完；做不过来。(2) 受不了；忍受不了。

<例句> ● 仕事が多すぎて一人ではとてもやりきれない。⇒ 工作太多，一个人怎么也干不过来。

- 毎日女房の小言を聞かされてはやりきれない。⇒ 天天听老婆唠叨，真受不了。

【辟易】^{へきえき} 厌烦；感到为难。

<例句> ● 彼の長演説には辟易した。⇒ 对于他的冗长演说，我是真够了。

- 子どもの自慢話をえんえんと聞かされて、すっかり辟易した。⇒ 没完没了地吹嘘自己的孩子，听得我都烦了。

【きわまる】^{きわまる} **【極まる】**^{きわまる} **【弱まる】**^{きわまる} 达到极限。极其；极为。

<例句> ● 感極まって泣く。⇒ 感极而泣。激动得泪流满面。

- 無礼きわまる態度。⇒ 极其无礼的态度。

【押し込む】^{おしこむ} 塞；硬塞。

<例句> ● すし詰め**の**バスに客を押し込む。⇒ 把乘客往挤得满满的公交车里塞。

- いろいろの学科を生徒の頭に押し込む。⇒ 把各种科目课程硬往学生脑袋里塞。

【おいで】【御出で】(敬语)(1) 在; 在家; 住。(2) 去; 来; 光临。

<例句> ● お父さんはおいでですか。⇒ 您父亲在家吗?

- どちらへおいでですか。⇒ 您去哪儿?

第 2 节

あれこれ^{おも}思いながら、先日の^{せんじつ}記事^{きじ}を^よ読んだ^{ひと}⑥。人^{ひと}を^{わら}笑わせ、
^{かんが}考え^かさせる^{かがくけんきゆう}科学研究^{おく}などに^{こうれい}贈^られる^こ恒例^のの「イグ・ノーベ
^{しょう}ル賞」を^{にほんじん}日本人^{けんきゆうしやふたり}の^{じゆしやう}研究^{はつめい}者^{ふた}二人^がが^{じゆしやう}受^{はつめい}賞^{した}した⑦。発^{はつめい}明^{した}したのは
^{おしやべり}おしゃべり^をを^{だま}黙^らせる^{そうち}装置^{いちだい}。一^{こえ}台^がほ^{あちこ}しい、と^ちい^う声^がが^{あちこ}ち^ちから^き聞^こえ^{そう}そう^だだ。

^{はな}話^{して}いる^{ひと}人^むに^む向^けて、^{びよう}0.2^{おく}秒^{ほど}ほ^おど^{こえ}遅^れて^おそ^くの^{かえ}声^をを^{かえ}送^り返^す返^す
 ⑧。す^とと^{こんらん}混^{らん}乱^{して}話^{はな}し^{つづ}続^けら^れな^らな^らし^いい。長^{なが}話^{はなし}を^{だま}黙^らせ^{たい}たい^いと^いう「^{じんるい}人^{ごんげんてきもんだい}類^のの^{こた}根^{げん}源^{てき}的^も問^だ題」に^{こた}応^ええ^{よう}よ^うと^した。そ
^{ひようか}んな^{あじ}評^も価^もあ^るる^そう^で、ユ^ーモ^アの^{あじ}味^わい^がい^いい。



译文

在我想来想去(直译:想这想那)的当中,我看到了
 一则几天前的报道:有两个日本研究人员获得了例行的
 “搞笑诺贝尔奖”。此奖是授予那些既令人发笑、又让人深
 思的科学研究等项目的。他们发明的是一台让那些喋喋不

休的人闭嘴的装置。我想，会有很多人都想要一台吧（直译：我仿佛听见各处都想要一台的声音）。

此装置会把说话人的声音延迟约0.2秒再返回给他，这么一来就会打乱其思维（直译：引起混乱），使他无法再继续说下去。这是为了解决让喋喋不休的人闭嘴的“人类的根本问题”所作出的努力。（评委）如此评价，真是太幽默了！

⑥ **注解** 这句的主语是本文作者，即“我”。

⑦ **注解** 「イグ・ノーベル賞」（英语：Ig Nobel Prize），即“搞笑诺贝尔奖”或“幽默诺贝尔奖”。主办方为美国的《科学幽默杂志》，于每年九月对“既好笑又让人深思”的十大科研项目获奖者予以颁奖，评委中有些是真正的诺贝尔奖得主。授奖地点在哈佛大学的桑德斯剧场。Ig Nobel Prize是由Ignoble（低级的）和Nobel Prize（诺贝尔奖）混合组成，有谐谑义。

「恒例」指例行的每年颁一次“搞笑诺贝尔奖”。

⑧ **注解** 「話している人に向けて」指把声音反弹给说话人。



生词&例句

【あれこれ】 这个那个；种种。

- ＜例句＞ ●あれこれ考えてちつとも眠れなかった。⇒ 想这想那，一点儿也没睡着。
- あれこれ不都合な事情がある。⇒ 有种种不方便的原因。

【恒例】^{こうれい} 惯例；例行；常规。

<例句> ● 恒例を破る。⇒ 打破惯例。

● 年末恒例の行事。⇒ 年终例行活动。

【あちこち】 这儿那儿；到处。

<例句> ● そんな例はあちこちにある。⇒ 那种例子到处都有。

● 部屋の中をあちこち歩きまわる。⇒ 在房间里踱来踱去。

【送り返す】^{おく かえ} 送回；返回；退回。

<例句> ● 不良品が多くまじっているのでメーカーに送り返す。⇒ 因里面有很多次品，所以退回给厂家。

● 密航者が本国へ送り返される。⇒ 偷渡者被遣送回国。

【長話】^{ながばなし} 长谈；久谈。

<例句> ● 電話で長話をする。⇒ 打电话长谈。

● 近所の人と道で長話をする。⇒ 和邻居在路上聊了半天。

【味わい】^{あじ} (1) 味；味道。(2) 趣味；妙处。

<例句> ● 料理に季節の味わいをそえる。⇒ 给菜肴添上季节的风味。

● 彼女の演技には何とも言えない味わいがある。⇒ 她的表演有难以形容的妙处。

第 3 节

思えば、目は閉じたいときにすぐ閉じられる。しかし耳は同じようには閉じられない。だから携帯電話の話し声やら、聞きたくないのに聞こえてしまう。

一方で、退屈な講演などを「最高の子守歌」と言う人もいる。耳が閉じられないゆえの余得だろう。うつらうつらの船漕ぎは、なかなか幸せな一時でもある⑨。ユニークな賞に誘われて、秋の一日、連想があちらこちらへ広がった⑩。

译文

想来也是，想闭上眼睛的时候可以马上闭上，但是，耳朵却不能（像眼睛那样闭上）。因此，诸如人们打手机的说话声，尽管不想听，但却钻进了自己的耳朵里（直译：全都听到了）。

另一方面，也有人将枯燥无味的讲演称之为“最棒的催眠曲”。这恐怕是由于无法闭合的耳朵得到的余福吧。迷迷糊糊地打个瞌睡也是一段相当幸福的时光。在此独特奖项的启示下，身处秋日的我，不禁浮想联翩。

- ⑨ **注解**「船漕ぎ」（名词形式）的字面意思是“划船”，在这里喻指打瞌睡、打盹，如「部長の船漕ぎ」指部长打瞌睡；再如「昼間から、大きな船を漕いでいる」指白天大打瞌睡（「船を漕ぐ」为惯用句，相当于「居眠

りする])。所以, 如果把「うつらうつらの船漕ぎは」译为“在划动的船上昏昏欲睡”就不对了(在这里「船漕ぎ」与“船”没有关系)。

⑩ **注解** 这句是讲本文作者的感受。



生词&例句

【やら】 (副助词) (1) 表示不确定。(2) 表示列举。

<例句> ● 山田とやらいう人が訪ねてきたよ。⇒ 有个叫什么山田的人来找过你。

● お花やらお茶やらを習う。⇒ 学习花道啦、茶道啦。

【ゆえ】 ^{ゆえ} **【故】** 理由; 缘故; 因为。

<例句> ● ゆえあって会社をやめる。⇒ 因故辞去公司的工作。

● 病気ゆえ欠席する。⇒ 因病缺席。

【余得】 ^{よとく} 额外的收入; 外快。

<例句> ● 余得の収入。⇒ 额外收入。

● 給料以外に余得がある。⇒ 除工资以外, 还有外快。

【うつらうつら】 昏昏欲睡; 迷迷糊糊; 昏昏沉沉。

<例句> ● 寝不足でうつらうつらする。⇒ 因睡眠不足而昏昏沉沉。

● ついうつらうつらと寝入ってしまった。⇒ 不知不觉地睡着了。

【一時】 ^{ひととき} 一时; 暂时; 片刻; 某个时候。 **注意** 「一時」还读「いちじ」「いつとき」, 意思和「一時」^{ひととき}各有相同或不同的地方。

<例句> ● 最後の楽しい一時。⇒ 最后的愉快时刻。

- 一時はやった歌。⇒ 曾流行一时的歌曲。

【あちらこちら】=【あちこち】(参看上面第2节的“生词&例句”)这儿那儿;处处;到处。

<例句>●あちらこちらを見回す。⇒ 到处张望。

- あちらこちらの名所を訪ね歩く。⇒ 走访各处的名胜古迹。



日语难读词之角

- 舌鼓(したづつみ): 咂着; 吧嗒嘴。

舌鼓を打つ。⇒ 咂着嘴吃(得很香)。

- 塩梅(あんばい): 味道; 咸淡。

塩梅がいい。⇒ 味道很好。咸淡合适。

- 船便(ふなびん): 通航; 船运; 海运。

船便で送る。⇒ 用船运寄去。

